

「管理職」と聞くと、どんなイメージを抱くでしょうか? 「責任が重い」

「プレッシャーが大きい」といった印象もあるかもしれません。私も管理職になりたての頃は余裕もなく、逃げ出したくなることもありました。

しかし、管理職としての経験を積んだ今だからこそ見えてきた管理職ならではの醍醐味があるのでは、お話ししたいと思えます。

1つ目は、チームらしさは自ら作ることができるといことです。チームの雰囲気や士気はリーダーである自分の

女性管理職が語る

管理職に3つの醍醐味

鏡だと考えています。自身、大きな問題に直面した際、上司の一言に安心感を覚え、背中を押し

ため、一緒に働く部下が安心して仕事に取り組むことができ、頼りになる管理職でありたいと思うと同時に、困った時には部下にも頼ります。

チームで助け合える環境は心強く、また共通の目標に向かって着実に進捗できた場合、チームとしての成果は自分一人です。

仕事をする場合の何倍にもなります。チームで達成感を共有する瞬間は本当に幸せです。

チェーン
ライ
プ
ジャ
マー
スタ
&G
Pカ
&D

川村 綾氏



かわむら・あや 2000年新卒でP&Gジャパン入社。生産統括本部でサプライチェーンに関わるさまざまな業務を担当。9年間のシンガポール勤務を経て22年10月より現職。

ての社内研修に参加する機会がありました。一番印象深かった学びは、

成果を上げるためには、管理職と部下が同じ仕事をしていたら意味がありません。管理職として

のニーズを理解する過程を大切にしながら一人ひとりの接し方を調整できるといことです。

自分へ期待されることは、部下の強みを生かし、それぞれの成長を助長できるように仕事を割り振り、信頼して仕事を任せ、

自分の小さな成長を実感することが成長する力になります。成長を感じた瞬間やチームで成果を出すことが、

そして一人ひとりにあった方法でコーチングすることだと考えます。

3つ目は、チーム一人ひとりの成長です。以前、成長思考について

管理職と部下の信頼関係は一日目から築けるも

喜びを感じます。りと言葉で伝え、一緒に喜ぶ環境を意識して作る

2つ目は、自分の強みや経験をチームの成果に生かすことです。

これら3つが、私の見

おわり